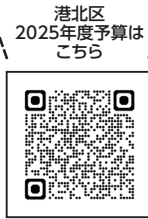


2025
年度

港北区で行う主な事業

港北区では、区民の皆さまにこのまちを「ふるさと」と感じていただけるよう、様々な事業を実施しています。今月号では、2025年度に港北区で行う事業の中から、生活に密着した主な事業をピックアップして紹介します。

●問合せ 区政推進課 企画調整係 ☎045-540-2230 📠045-540-2227



港北区
2025年度予算は
こちら



横浜市
2025年度予算は
こちら

防災



“発災前からの備え”を強化

安心して避難生活を送ることができるよう、**地域防災拠点の環境改善**を図るほか、「自助・共助」による備えの大切さを様々な方法で発信します。

主な事業

- 地域防災拠点の備蓄飲食料の大幅強化(2食×1日分→3食×3日分)、新たな備蓄品の配備(トイレ開設支援キット、衛生用品、介護食)、防犯力の強化(防犯ブザー・簡易防犯カメラの配付)
- 水害リスクをまちなかで発信する「まるごとまちごとハザードマップ」の設置エリア拡大(日吉地区、大曽根地区)

子どもから広げる防災

子どもが防災について学ぶことをきっかけに、**家族等で災害に備える行動を広げていく取組**を実施します。

主な事業

- 家族で学べる「防災啓発リーフレット」の作成
- 避難生活の体験ができる「親子防災デイクャンプ」の実施

新たな「横浜市地震防災戦略」



在宅避難時の備蓄品調理の体験
(高田地区)

市では、令和6年能登半島地震の被害状況等を踏まえ、4月に新たな「地震防災戦略」を策定しました。

「市民目線」を反映した新たな戦略に基づき、「自助・共助」による発災前からの備えや地域防災拠点の機能強化等の災害対策を推進します。

防犯・交通安全



地域と取り組む防犯活動

「闇バイト」による凶悪事件等が発生している状況を踏まえ、**地域や関係機関と連携した取組**を強化します。

主な事業

- 地域防犯対策への緊急補助(補助率:90%、上限額:20万円)
- 地域防犯カメラの設置補助の拡充(上限額:21万円/台→28万円/台)
- 警察や港北防犯協会、地域、学校、民間事業者との連携強化

まちなかの交通安全

誰もが安全・安心に利用できる道路空間の実現に向けて、**道路・踏切の安全対策**や、**地域や関係団体と連携した啓発活動**を行います。

主な事業

- 日吉駅西口周辺道路の一方通行化の実現に向けた取組
- 通学路の交通安全対策
- 踏切の安全対策(城山踏切(城郷地区)、法隆寺踏切(菊名地区))
- 交通安全関係団体やプロスポーツチームと連携した啓発活動

自治会町内会による防犯活動



地域を守る防犯パトロール
(綱島東親和会)

自治会町内会では、防犯パトロールの実施や防犯灯・防犯カメラの設置・管理、子どもや高齢者への声掛けや啓発活動等を行っています。

皆さまが安心できるまちを目指して、地域ぐるみで取り組んでいます。

地球と生きる未来の姿を体感！

「気候変動」と聞くと、地球規模の問題のように感じられ、あまり身近に思えないかもしれませんが、実は私たちの生活にも深く関わる重要な問題です。

GREEN×EXPO 2027は、「環境と共生する未来のグリーン社会」のあり方を考え、明日の行動を変えていくきっかけとなる博覧会を目指していきます。

開催日の「500日前」や「1年前」等の節目を捉えて、港北区でも意義や内容、魅力を発信していきます。ご期待ください！

期間 2027年3月19日(金)～9月26日(日)

会場 旧上瀬谷通信施設(瀬谷区・旭区)



公式マスコットキャラクター
トウントゥン

GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月横浜・上瀬谷

©Expo 2027

脱炭素・グリーン



持続可能な社会の実現を目指して

サステナブルなグリーン社会の実現に向けて、**区民の皆さまが行動を変えるきっかけになるような取組**を区内企業等と連携して実施します。

主な事業

- 自治会町内会館の脱炭素化の推進(補助率:2/3、上限額あり)
- シェアサイクルの充実や利用促進(区役所へのポート設置、市内相互乗り入れ)
- 区内企業と連携した脱炭素イベントの実施、子どもの学びや体験の場の提供
- 鶴見川流域の自然環境と防災等に関する体験型学習講座「水と緑の学校」の実施



Message

「ふるさと港北」の実現に向けて

港北区長 **たけした ゆきのり** 竹下 幸紀

こんにちは。港北区長の竹下です。

昨年4月の就任以来、区民・企業・団体の皆さまのご協力によって、港北区が活気と魅力に溢れていることを日々実感しています。

そうした皆さまの暮らしを守るため、防災・防犯対策や公共インフラの維持管理、福祉的な相談支援、公衆衛生の維持等、区民生活の基盤となる業務を今年度も確実に推進します。

そのほか、窓口サービスの面でも、正確かつ丁寧な対応や待ち時間の短縮、「お悔やみ窓口」の設置等に取り組めます。

なお、今年8月には「第9回アフリカ開発会議(TICAD9)」、2年後には「2027年国際園芸博覧会(GREEN×EXPO 2027)」が開催されます。こうした国際的なイベントの機会を捉え、まちのにぎわい創出や魅力づくりに引き続き取り組みます。

区民の皆さまのニーズを捉え、皆さまにこのまちを「ふるさと」と感じていただけるよう取組を進めてまいりますので、区政の推進にご理解・ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。



子育て



ママ・パパの安心のために

妊産婦やパートナー、子育て中の保護者が、安心して子どもを産み育てることができるよう、**体験・交流機会の創出**や**情報発信**に取り組めます。

主な事業

- 妊娠や出産、育児のことを知って体験できる「地域両親教室」等の妊娠期プログラムの開催
- 妊娠中に特化したリーフレット「にんしん・あんしんセレクト」の配布
- 横浜市子育て応援アプリ「パマトコ」の充実・利用促進

20代から始める健康づくり

健康寿命の延伸に向けて、**働き・子育て世代の健康づくり**に取り組めます。

主な事業

- 子宮頸がん検診無料クーポンの対象年齢拡大(20歳→20～24歳)
- 区内企業への健康経営の取組支援
- 商業施設や区役所での生活習慣改善の啓発活動

「こども家庭センター」機能の設置



専門職による相談支援
※画像はイメージです

港北区では、4月からこども家庭支援課に「こども家庭センター」機能を設置しました。母子保健部門と児童福祉部門の連携を更に深め、全ての妊産婦、子育て世帯、子どもへの切れ目のない包括的な相談支援を強化します。

いきいき



いつまでも自分らしく暮らせるまち

歳を重ねることをポジティブに捉え、高齢者がいつまでも自分らしく暮らせるまちを目指して、**フレイル予防**や**認知症施策**を進めます。

主な事業

- フレイル予防体操「港北MM*ダンス」の普及啓発
※MM=ミズキー・マリノスケ
- 認知症の人が自分らしく過ごせる地域づくりの取組
「横浜市チームオレンジ」の区内全域での展開

体操動画は こちら



みんなのお出かけをサポート

誰もが移動しやすい環境を整備するために、**移動サービスの充実**に向けた取組を進めます。

主な事業

- 地域公共交通の導入促進(「横浜市みんなのおでかけ交通事業」)
- 75歳以上の運転免許返納者への敬老バス3年間無料交付(10月から開始)

第5期「ひととプラン港北」の策定



地域活動団体による交流会
(城郷地区)

誰もが安心して暮らせるように地域のつながりや助け合い、支え合いを広げる計画「ひととプラン港北(港北区地域福祉保健計画)」を推進しています。今年度は、地域の皆さまの声やコロナ禍で変化した社会環境を踏まえ、第5期計画の策定を進めます。

にぎわい・まちづくり



もっと豊かなまちを目指して

区民サービスの更なる充実に向けて、区内で行われる**まちづくりに関する調整**を進めます。

主な事業

- たかたコミュニティハウスの開館(開館日:4月1日)
- 区内駅周辺で進む再開発
- 港北図書館の再整備に向けた検討調査



施設案内は
こちら



たかたコミュニティハウス



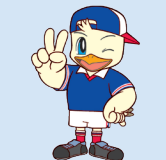
開発が進む綱島駅周辺

活気あふれるまちに向けて

地域コミュニティのかねめである**自治会町内会・商店街への支援**や、区民の皆さまの**「ふるさと」意識の醸成につながる取組**を実施します。

主な事業

- 自治会町内会の加入促進に向けた情報発信
- 自治会町内会への活動補助の拡充(1世帯あたり上限額:700円→900円)
- 商店街の活性化(イベント開催、情報発信支援)
- 「ふるさと港北ふれあい祭り」や「大倉山観梅会」の開催
- 花と緑をきっかけに交流する「港北オープンガーデン」の開催
- 身近な工場を見学・体験する「港北オープンファクトリー」の開催
- 港北区を本拠地とするプロスポーツチームと連携した取組



マリノスケ
©1992.Y.MARINOS



グレーガ
©YOKOHAMA GRITS



カノンちゃん
©横浜キヤノンイーグルス